

韓国産業研究院の研究者が北海道開発政策を学ぶため、当局を訪れました。



（写真左側からソン博士（韓国産業研究院）、小磯特任教授（北海道大学公共政策大学院））

韓国産業研究院（Korea Institute for Industrial Economics & Trade）地域開発研究センターの地域政策チーム長であるソン博士が北海道開発政策を学ぶため、平成28年12月26日に当局を訪れました。

ソン博士は北海道大学公共政策大学院の客員研究員として2017年3月まで日本及び北海道の地域政策について研究する予定です。

当局開発計画課から北海道総合開発システムの概要、及び新しい北海道総合開発計画について説明しました。

地域開発に関する大統領諮問委員会（PCRD）の委員でもあるソン博士からも韓国の地域開発に関する課題等が語られました。

ソン博士によると韓国でも近年、地域開発に関する人々の意識も経済成長から生活の質の向上を重視する方向に変わってきていること、又、韓国社会においても急速に高齢化が進んでおり、今後市町村合併等が進行していく旨、述べられました。

北海道と韓国では地域開発に関して共通する課題もあるため、今後も交流が続くことが期待されます。

